

第149回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部部会会議録	日時	令和5年1月17日(火) 9:20~9:35	場所	議場
出席者	白井市長、大熊教育長、天野企画財政部長、藤本庁舎建設等担当部長、加藤総務部長、西田市民部長、柿崎環境部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、若藤都市整備部長、大津学校教育部長、梅原生涯学習部長、伊藤健康課長、佐々井新型コロナウイルス感染症対策担当課長、富田企画政策課長、廣田広報秘書課長、宮奈地域安全課長、宮腰地域安全係長			
付議事項	1 新型コロナウイルス感染症対策について 2 各部連絡事項			
資料	1 新型コロナウイルスワクチン接種について 2 抗原検査キット配付実績 3 感染状況・医療提供体制の分析			
<p>(進行：福祉保健部長)</p> <p>(市長)</p> <p>感染者、濃厚接触者が増えており、東京都の感染者数が増加している。先日の医師会との会議においても医療体制はひっ迫しており、緊急搬送が出来ないケースなどもあると聞いている。余談を許さない状況が続いているが、市民の暮らしを守るため、必要な対策を行っていく。</p> <p>1 新型コロナウイルス感染症対策について (新型コロナウイルス感染症対策担当課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接種状況は資料のとおりで、オミクロン株対応ワクチンの接種率は人口比で38.99%。国平均が38.44%、都の平均が37.49%であり、都の平均が低いのは若年層で未接種の方が多いためと考えられる。 ・60歳以上のオミクロン株対応のワクチン接種状況についても資料に示しており、約1万人程度が接種していないと思われる。特に高齢者の方については、重症化を防ぐ観点から3回目以降の接種を終えている事が重要であると考えます。 ・オミクロン株対応ワクチン集団接種実績について資料に示しており、12月末までの実績は22,445人。12月末までの個別接種の実績は23,200人。接種の半数以上を個別接種で担っており、個別接種の協力が欠かせないと考えている。 ・旧西友での予約なし接種実績について資料に示しており、接種総数の1割強の方が予約なしの接種を利用されたことが読み取れる。 ・接種勧奨については、引き続き保健センターで予約なし接種を実施するとともに、60歳以上の3回目未接種の方に勧奨通知を送付し、また新たに市民課と調整の上、集団接種来場者用のマイナンバーカード臨時申請窓口の設置を予定している。 ・今後の接種体制について医師会と調整を済ませており、2月6日以降は17の医療機関において接種を行っていただく予定である。 				

・令和5年度以降について、現時点で国・都から特段方向性等は示されていないが、1月30日に国の自治体向け説明会があるので、そこで情報提供されるものと思われる。

(健康課長)

・抗原検査キットの配布実績については、資料のとおりである。昨年12月28日から配布上限数を25に増やしており、12月28日から1月5日は利用実績が上限に達しており、以降は上限未満である。

・都のモニタリング会議の資料については、直近の感染状況や医療体制が示されている。感染者数は増加しているものの検査陽性率は減少しており、陽性者登録センターへの未登録も相当数あると思われる。感染状況については、4段階別の上から2番目の「感染が拡大している」、医療提供体制については、4段階別の1番上の「医療体制がひっ迫している」である。

2 各部連絡事項

(子ども家庭部長)

・コロナ関連に係る保育園の育成料の減額措置については、今年度で終了する予定である。学童保育についても近隣市の状況を見て検討する。

(福祉保健部長)

・高齢者施設、障害者施設の感染状況について引き続き注視していく。

(総務部長)

・職員の感染状況は1月が昨日時点で20人、第7波時相当の数であり、今後インフルエンザの感染もピークに達することから、引き続き感染対策を徹底してほしい。